**第３学年２組体育科指導案**

1. **題材名**　体ほぐしの運動　基本的な動きを組み合わせた運動
2. **運動の特性**

（１）一般的特性

・自分や仲間の体の状態に気付いたり、体の調子を整えたり、仲間と豊かに交流することができるようになったりすると楽しい運動である。

・体のバランスをとったり移動したりする動きや、用具を操作したり力試しをしたり組み合わせたりする動きを意図的に育む運動を通して、体の基本的な動きを総合的に身につける運動である。

（２）児童からみた特性

|  |  |
| --- | --- |
| 体ほぐしの運動の楽しさや喜びを感じる要因 | 体ほぐしの運動を遠ざける要因 |
| ・仲間との活動を通して感覚を獲得することができること。・グループでの競争で互いへの関心を強めて動きへの関心が強くなること。  | ・体を使うことができず取り残されてしまう。・グループ内での運動能力の格差による。 |

（３）児童の実態

①　技能

　　　低学年時にも体ほぐしの運動を行っており、体を動かす感覚は身についている。

②　態度

　　　本学級の児童は、運動への関心が高く体育の課題に意欲的に取り組んでいる。

③　思考・判断

　　　運動をする中で課題を発見することができない。運動会の練習でも何をどうすればいいのか、練習方法はどうするのかでなかなか実際の運動をする時間を失ってしまう場面が多くみられた。

（４）教師の指導観

①　技能

　　　一度同じような運動をしているからといって３年生の発達段階では感覚的ものしか得ておらず、まだイメージと体の動きを合わせることができているとは言い難い。そこで、今回の単元の指導ではなるべく見本を示すことで動きと言葉を合わせることに重点を置いた。

②　態度

　　　仲間との活動することで仲間の体の能力に関心をもち運動に取り組めるようにする。

③　思考・判断

　　　思考力・判断力を高めるための具体的場面として、①ペアでの活動で相手の動きをよく見ること, ②グループでの運動を通して仲間の動きに合わせた運動を知ることができる。また、比較をすることで相手と自分の動きの違いに気付くと共に、仲間の調子を知り、自分の体についても知ることができる。

1. **単元の目標**
2. 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、仲間と助け合って運動することができるようにする。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【関心・意欲・態度】
3. 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。　　　　　　　　　【関心・意欲・態度】
4. 運動のねらいを知ると共に、ねらいに応じた運動を工夫できるようにする。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【思考・判断】

（４）体のバランスをとったり移動をしたりすると共に、用具を操作したり力試しをしたりすると共にそれらを組み合わせて運動できるようにする。

　　　　　　　　　　　　　【技能】

1. **単元の評価計画**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 運動への関心・意欲・態度 | 運動についての思考・判断 | 運動の技能 |
| 単元の評価基準 | ○体を動かす楽しさや心地よさを味わい、仲間と助け合って運動をしようとしている。○体つくり運動に進んで取り組むと共に、きまりを守り、仲よく運動しようとしたり、運動をする場や用具の安全を確かめようとしている。 | ○体ほぐしの運動のねらいを知ると共に、ねらいに応じた運動をしている。○多様な動きを作る運動を行い方を知ると共に、友達のよい動きを見付け自分の運動に取り入れたり、動きを組み合わせ方を選んだりする。 | ○体のバランスや移動、用具の操作したり力試しの動きと共に、それらを組み合わせた動きができる。 |
| 学習活動に即した評価規準 | ①体をどう動かせばいいのかを意欲的に考えて実践しようとしている。②きまりをまもり、協力して用具の片づけを行っている。 | ①求められている動きのポイントを捉えて実践している。②仲間の運動を観察し自分の動きに取り入れられている。 | ①用具の特性を生かし動きと連動させることにより一連の動作を行うことができる。 |

1. **単元の計画**

指導と評価の計画（６時間扱い）本時は○印　５／６時

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 時 | １ | ２ | ３ | ４ | ⑤ | ６ |
| ねらい | ○今後の学習に見通しをもつ。 | ○ゲームや競争を生かして、楽しみながら巧みな動きを高められるようにする。○意欲的に活動ができるように、称賛、励ましの声を積極的に出すようにする。○簡単な運動から徐々に難しい運動へと自分たちで工夫できるように運動を進める |
|  | １　集合、整列、挨拶をする。２　準備運動をする。 |
|  | ３　学習のねらいを理解し、学習の進め方について見通しをもつ。４　準備運動や運動の内容を確認する。５　これまでに行った運動を行う。６　グルーピングをする。 | １．体ほぐしの運動をする |
| ○ペアでストレッチ○おしくらまんじゅ　　う | ○手つなぎ　鬼○風船で活　　　　動 | ○短なわを使った運動○グループで協力して活動 |
| ２．基本的な動きを組み合わせた運動をする |
| ○ボールと長なわを使って・長なわの中でボールをつく・長なわの外でパスをする。 | ○平均台とボールを使って・平均台の上でボールを投げ上げて進む。・平均台の上でボールをつく。・平均台の上を歩きながらボールをパスして進む。 | ○複数の友達とボールを使って・２人同時に投げ上げたボールを移動して捕る・２人同時にバウンドパスをして捕る・友達が投げ上げたボールを前転してキャッチする。 |
| 集合・整列・学習のまとめ・整理運動・次時の予告・あいさつ |

1. **本時の学習と指導（５／６時）**

（１）ねらい

（２）準備

　　　長なわ、ボール、ストップウォッチ

（３）展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段階 | 学習内容・活動 | 指導上の留意点（○指導　◆評価基準） |
| 導入８分 | １　集合・整列・挨拶をする。２　準備運動をする。 | ○身なりを整え、気持ちよく学習を始められるようにする。 |
| 展29分整理８分 | ３　グループに分かれ円になり手をつなぎ座りストレッチを行う。４　円の形のまま背を向け腕を組み一緒に立ち上がったり座ったりする５　風船を頭だけで地面に落とさないようにラリーをする。６　長なわ、ボールを各グループに配布する。長縄を跳びながらボールを投げ上げてとる運動、跳びながら相手から投げられたボールをキャッチして投げ返す運動、跳びながらドリブルを行う。７　使った道具を片付ける８　整理運動・挨拶をする | ○グループで行うことで仲間の体の柔軟性に気付かせる。○競うことで児童の意欲を刺激できるよう声かけをする。○手をつなぎ頭以外を使わずに行うこと。また間隔をとり、短い距離で行う。◆仲間との動きの連携をとろうとしている。。（観察）○なわを回す動きを確認する。○前回の回数よりも多くできるように声をかける。また、なわを回す役などの役割を全員が経験できるようにする。○片付けを時間内に終わらせること。○ゆったりとした動作で全体をほぐすようにする |

1. 備考　在籍児童数　男子　女子　　計35人

グループ編成　男女混合　６班